

シラキュース大学

留学報告書

学部学科・研究科専攻	国際学科		留学時学年	2
留学先	国	アメリカ	大学/機関	シラキュース大学
期間	2025年 8月 19日 ~ 2026年 3月 22日			
	短期 ・ 中期 ・ 長期	計 7 ヶ月		
	※○で囲んでください。			

[1] 参加したコースの時間数と時間割

- 授業時間数：各授業 90 分制、3 授業
- 科目名（受講した科目を全てご記載ください）：Oral, Textual, Accuracy class

【時間割】

時間	月	火	水	木	金	土	日
例) 9時~13時	○	○	○	○	○	○	Free
8:45AM-10:15AM	○	○	○	○	○	Free	Free
10:30AM-12PM	○	○	○	○	○	Free	Free
1:15PM-2:45PM	○	○	○	○	○	Free	Free

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

【例】クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等

クラス人数・国籍

例年と比べてクラスは小規模でした。

8月末-12月上旬での fall semester は自分を含め 4 名、日本人は自分のみ・クラスメイト 3 名はそれぞれ中国・台湾・ボスニアヘルツェゴビナ出身でした。

1月中旬-3月中旬(帰国まで)の spring semester は約 10 名程でした。日本人は自分と 1 月からの短期プログラムから 1 名、台湾出身 1 名・サウジアラビア出身 2 名、ブラジル出身 1 名、ボスニアヘルツェゴビナ出身 1 名、ウズベキスタン出身 1 名、カザフスタン出身 4 名(うち 3 名は 2 週間のみ滞在)、中国出身 1 名でした。

担当の先生

fall semester は Haley, Tara, Amy という女性の先生方が担当でした。どの先生もフレンドリーでとてもやさしく、クラス全員とのコミュニケーションを大切にされている印象でした。

spring semester は Haley, Tara の2名が担当でした。卒業する頃には担当の先生方を含め ELL の皆さんと家族のような温かい関係性になることができ、帰国の際には涙をこらえるほどアットホームな環境でした。

授業方法・使用教材等

対面で毎平日授業がありました。カジュアルな授業環境で、先生方とコミュニケーションを取りながら受けるような形でした。基礎的な知識から上級のアカデミックレベルまで生徒一人一人に合わせた指導をしてくださいました。教材は各授業一つ教科書があり、その他には配布されるプリントを使用する授業が多かった印象です。

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

課外活動を開催している団体はインスタグラムアカウントがあり、サークル等の活動やミートアップイベントは基本的にインスタグラムを通して情報を得ていました。私の場合サークルのような本格的な団体には所属しなかったのですが、積極的にミートアップイベントやカジュアルなクラブ活動に参加をして英語を話す機会を常に作ることを心がけていました。私の参加した課外活動を例として挙げると、定期的に行われる free meal events, running club, カラオケイベント、crochet club(編み物クラブ)、JSA(Japanese student association)、international conversation events 等です。

週末は基本的に課題、買い物、家事(洗濯、掃除、料理の作り置き)をしたり、ジムで運動をしたり、パーティーに行ったり、友達と遊んですごしていました。

[4] よく利用した施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

図書館、スポーツ施設(ジム、アイススケートリンク)、student center です。

大学の施設はすべて無料で利用可能でとても充実していたので、基本的にキャンパス内で普段したいことを完結することが可能でした。

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

宿舎：Cooper Beech Commons / Building A

部屋：1部屋3人で使用(途中で一人引っ越してしまったため半期は2人で使用していました)

様子：私のルームメイトはカンボジア出身の子一人、アメリカ出身の子一人でした。二人とも大学院生で多忙な生活を送っていたため生活リズムの関係で普段会うことはあまりありませんでした。基本的には共有スペースを共有し、何か話し合うべきことがあればその都度話し合うのみで、プライベートな点で深く仲良くなることはありませんでした。宿舎の地下にはジム、ヨガスタジオ、卓球ルームなどがあり、数回アメリカ出身の子と卓球で遊ぶ機会がありました。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと：

国籍を超えていろいろな国の人と交流をしたこと

新しい価値観を学んだこと

友達との旅行

パーティー

自分一人で海外で生活するという貴重な経験

● 苦労したこと：

① ルームメイトとのコミュニケーション(国籍も生まれ育った環境も違うため、日本では当たり前だと感

じていた‘察する文化’は通用せず、相手に伝えたいことは言葉にしなければ伝わらないため、初めは慣れないコミュニケーションスタイルに苦労しました。)

- ② アメリカと日本の文化・価値観・笑いの倫理観の違い（アメリカ出身の友達と会話する上で感じた日本文化との大きな違いとしては、アメリカ文化では会話の間を気まずく捉えられてしまう点・アイコンタクトを重要視される点、ネガティブなトピック含め言葉にして直接的に伝える文化、皮肉的なお笑いのスタイルなどです。)

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

留学前は人と英語を話すことも恥ずかしく考えてしまいスピーキングの練習が十分にできていませんでしたが、日常会話や旅行先での会話は苦労なくできるようになりました。

また、毎日英語のリスニングスピーキングをすることから単語力の向上、友達や先生の英語を常に聞いているためリスニング力の向上が確実にありました。様々なアクセントを持つ人とのコミュニケーションを求められるため、国際的な環境ならではの生きた英語力を身につけることができました。

2) 専門知識の向上：

私が受講した授業は英語力向上のためのクラスのみだった為、特別な専門知識の向上はありませんでしたが、シラキュース大学の授業を実際に受ける選択肢もあるため（計画的な決断・追加授業料が必要です）興味がある方は検討する事も良い機会だと思います。

3) 自己成長など：

この約7か月間で大きく成長をしたと思います。

家族と離れて長期間生活すること、一人暮らしをすること、家事、旅行の計画や実行をすべて自己責任で行うこと、積極的に授業で発言する姿勢、積極的に新しい環境に挑戦し新しい人間関係を構築する事などが特に感じた自己成長できた経験です。常に自分ができる目の前のことを頑張るということを心がけて生活できた結果だと感じています。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

語学留学はもちろん語学力の向上を目的としている方が多いかと思いますが、実はそれだけではなく限らない自己成長へのきっかけに繋がるとても良い機会だと思います。長期間で留学ができる機会はきっと人生において数少ない貴重な機会なので、留学前にも留学中にも「なぜ自分は留学することを決めたのか」・「留学先で何をしたいのか」・「その為に今自分ができることは何か」を考え直して、フォーカスすべきことに意識を向けて欲しいなと思います。

また、自分の行動次第で成長度合いや将来への考え方が大きく変わります。そして挑戦する上で失敗はつきものです。成功するか・失敗するかではなく、挑戦して経験値を上げるか・挑戦しないかのマインドで行動をしてみてください。その結果、最後に振り返ったときに大きく成長できていると思います！

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

	内訳		金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費（授業料、フライト代他）	0
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	387,800
3	中期・長期留学者のみ	滞在費（寮費・ホームステイ代など）	1,275,000
4	教材費		授業料に含まれている
5	保険代		322,814
6	私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）		160,000 (月2万程)
7	個人的な買い物		約 50,000
8	その他（ VISA 手続き、ワクチン、旅行等 ）		約 1,000,000
9	留学に関する費用（1 から 8 の合計）		3,195,614
10	受給した奨学金（奨学金名：どちらも不明。（パンフレット記載の奨学金 31 万）+TIPS 成績上位者の奨学金 10 万 ）		410,000
11	留学に関する費用総額（上記 9 から 10 を引いた額）		2,785,614



